

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	208・光文	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳 138 道徳 238 道徳 338 道徳 438 道徳 538 道徳 638	しょうがく どうとく ゆたかな ころこ 1ねん 小学 どうとく ゆたかな ころこ 2年 小学どうとく ゆたかな心 3年 小学どうとく ゆたかな心 4年 小学道徳 ゆたかな心 5年 小学道徳 ゆたかな心 6年
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び目標、内容等〕	<p>○ 生命の尊厳について 第1,2学年では、これからどのようなことをがんばって命を輝かせたいか、命の大切さについてどのようなことが分かったかを考える活動等、第3,4学年では、命のつながりについてどのようなことを考えたか、命を救うために努力を惜しまない人々の思いは何かを考える活動等、第5,6学年では、よりよく生きるということはどのようなことか、限りある命をどのように生きていくとよいかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 自然について 第1,2学年では、自然や動物と仲よくしたときどのようなことを思ったか、自分の好きな花や木のどのようなところが好きかを考える活動等、第3,4学年では、植物を育てているときに不思議だと思ったことは何か、動物と一緒に生きるということはどのようなことかを考える活動等、第5,6学年では、自然の仕組みを守るために自分ができることはどのようなことか、自然の偉大さについてどのようなことを感じるかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 伝統と文化について 第1,2学年では、自分の生まれ育った町の好きなところはどのようなところか、地域の人たちの心がこもった活動はどのようなことかを考える活動等、第3,4学年では、地域に伝わっている慣習や行事は何か、町にある大切にしていきたいものは何かを考える活動等、第5,6学年では、他の国の人と親しく付き合うために大切だと思うことはどのようなことか、日本のよさを守るために自分たちがすることは何かを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 情報化への対応について 第1,2学年では、パソコン等のルールにはどのようなものがあるか、メールで行ってよいこととよくないことの違いは何かを考える活動等、第3,4学年では、噂話で人の話やニュースを聞いたときどのように判断したらよいか、ゲーム機でよい友達関係を作るためにはどのようなことが大切かを考える活動等、第5,6学年では、スマートフォン等で使い方が原因で問題が起こらないようにするためにはどのようなことに気を付けるとよいか、上手に使っていくためにはどうしたらよいかを話し合う活動等を取り上げ、児童が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p>			
	<p>○ 内容の構成・排列 言語活動については、オリエンテーションページや言葉の意味を理解させるためのコラム「ことばのたからもの」を配置し、問題解決的な学習については、児童の考えを深めたり広げたりすることができる「キャラクターの問いかけ」を配置し、体験的な学習については、よりよい人間関係の構築に向けた「みんなでやってみよう！」を配置するなど、児童が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは14教材、Bは11教材、Cは16教材、Dは9教材、Eは2教材、全体で52教材であり、総ページ数は152ページとなっている。 第2学年～Aは14教材、Bは10教材、Cは16教材、Dは8教材、Eは2教材、全体で50教材であり、総ページ数は160ページとなっている。 第3学年～Aは8教材、Bは15教材、Cは17教材、Dは8教材、Eは2教材、全体で50教材であり、総ページ数は176ページとなっている。 第4学年～Aは10教材、Bは14教材、Cは18教材、Dは8教材、Eは2教材、全体で52教材であり、総ページ数は180ページとなっている。 第5学年～Aは12教材、Bは11教材、Cは16教材、Dは11教材、Eは2教材、全体で52教材であり、総ページ数は184ページとなっている。 第6学年～Aは14教材、Bは9教材、Cは16教材、Dは12教材、Eは2教材、全体で53教材であり、総ページ数は188ページとなっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 各学年に、授業後の心の動きや学びを継続して記入する「学びの足あと」を配置し、自らの道徳的な成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童が自らを振り返るための工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年に、家庭や地域の人たちとの関わりをもたせた活動を提示した「ひろげる」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</p> <p>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての児童が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 北海道と関連のある教材は、「三浦雄一郎」など5箇所取り上げられている。</p> <p>○ いじめの問題については、信頼し合い、助け合っていくために、普段の生活では、どのようなことを心がけるとよいかを話し合う活動等を取り入れている。</p>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。